

令和 8 年熊本地震に関する 緊急要望書



令和 8 年 8 月

鹿 児 島 県

令和 8 年熊本地震に関する緊急要望

7 月 28 日に発生した令和 8 年熊本地震では、多くの尊い人命が失われるとともに、多数の住宅や公共施設の損壊、道路・鉄道・上下水道等の社会インフラの被災など、広範囲にわたり甚大な被害が発生しました。発災から一定期間が経過した現在においても、多くの被災者が避難生活を余儀なくされるなど、被災地域では依然として厳しい状況が続いております。

本県においては、地震発生直後から国、熊本県及び関係機関・団体と緊密に連携し、緊急消防援助隊による救助活動やDMA Tによる医療支援、職員派遣による情報収集や被災自治体への支援など、迅速な初動対応に全力で取り組んでまいりました。今後とも、被災地の一日も早い復旧・復興に向け、最大限の支援を継続してまいります。

今回の地震では、九州地域の交通の大動脈である九州新幹線や九州縦貫自動車道・南九州西回り自動車道をはじめとする広域交通・物流ネットワークが寸断されたことなどにより、人流や物流が大きく停滞し、本県においては、観光客の減少や物流コストの増加など、地域経済活動に深刻な影響が生じております。

こうした中、政府におかれましては、発災直後から関係機関と連携し、交通インフラの応急復旧に迅速に取り組んでいただいております。今月 7 日には九州新幹線の鹿児島中央駅と新水俣駅間で運行が再開され、14 日には九州縦貫自動車道の全線で一般車両の運行が可能となるなど、着実に復旧が進められていることに対し、深く感謝申し上げます。

一方、九州新幹線の一部区間での運転見合わせや南九州西回り自動車道の一部区間での通行止めが続いているなど、県内外を結ぶ広域交通・物流ネットワークの寸断が現在も解消されておらず、本県の地域経済活動への影響が依然として継続しており、現時点においても今後の見通しが示されていないことなどから、今後、影響が長期化することが強く懸念されます。

特に、本県の基幹産業である観光関連産業においては、交通アクセスの影響や風評被害等により旅行需要が大幅に落ち込み、宿泊施設における予約キャンセルの増加や観光施設利用者数の減少が発生しております。加えて、土産物販売業、飲食業、交通事業者など幅広い業種に影響が波及しており、地域経済全体に深刻な影響を及ぼしております。

さらに、運送事業者においては、迂回による輸送時間の増加により、人件費や燃料費等の物流コストが増加するなど、事業活動への影響が生じております。

こうした状況を踏まえ、本県の地域経済の早期回復が図られるよう、国におかれましては、以下の項目について早期に実現されるよう強く要望いたします。

1. 広域交通・物流ネットワークの早期完全復旧

【財務省、国土交通省】

今回の地震により、人流・物流の大動脈である九州新幹線や九州縦貫自動車道・南九州西回り自動車道をはじめ、ＪＲ鹿児島本線及び肥薩おれんじ鉄道の一部区間で通行止めや運休等が発生し、地域経済に甚大な影響が生じている。

航空便については、鹿児島ー福岡間で臨時便が運航され、九州縦貫自動車道については、今月１４日に一部区間で対面通行規制等が行われているものの早急に鹿児島ー福岡間の全線で一般車両の通行が可能となるなど、交通状況の改善が図られつつある。

一方、九州新幹線については、今月中の再開は困難であるなど、本県における人流・物流への影響が当面の間継続することが懸念される。

- 今回の地震により、甚大な被害を受けた九州縦貫自動車道及び南九州西回り自動車道について、早期完全復旧に向け引き続き、財政的・技術的支援等、特段の措置を講じること。
- 一部区間で運行を取り止めている九州新幹線及び肥薩おれんじ鉄道、ＪＲ鹿児島本線については、住民生活や物流、観光などの経済活動に支障が生じていることから、一日も早い全面的な復旧及び通常運行の再開が図られるよう、鉄道事業者に対する必要な支援を行うこと。
- 肥薩おれんじ鉄道については、応急工事費及び完全復旧に要する経費について、災害復旧事業費補助の補助率の嵩上げなど特段の配慮を講じること。

2. 人流への影響を踏まえた観光・地域経済への支援

【財務省、観光庁、中小企業庁】

今回の地震により、九州新幹線や九州縦貫自動車道などの交通の大動

脈が寸断されたことなどにより、観光関連産業など本県の様々な産業において、相当な影響が生じている。

特に、観光業においては、交通アクセスの影響に加え、地震後の本県の状況が正しく伝わっていないことなどにより、8月14日時点で少なくとも11万人泊以上の宿泊キャンセルが生じるなど、大きな影響が生じている。また、宿泊キャンセル数については、今後さらに増加することが見込まれている。

例年、夏休み期間は多くの帰省客及び観光客が見込まれる重要な観光シーズンであるが、県内の宿泊施設や観光施設においては旅行需要の著しい減少に直面している。加えて、その影響は土産物販売業、飲食業、交通事業者をはじめとする幅広い関連産業に波及するなど、地域経済全体に深刻な影響を及ぼしており、早期に落ち込んだ旅行需要の回復を図る必要がある。

- 国においては、旅行需要の早期回復に向けた観光需要喚起策及び国内外からの誘客策に要する財政支援を速やかに行うこと。
- 国内外への正確な情報発信を行い、風評被害の払拭に努めること。
- 地震の影響を受けた中小企業者等の事業継続については、資金繰りの円滑化のため、信用保証協会が一般保証とは別枠の限度額で融資額100%を保証するセーフティネット保証4号を本県に適用すること。
- 令和8年熊本地震に起因する業況悪化により資金繰りに影響を受けた中小企業者等に対する特別貸付の創設や金利の優遇等を行うこと。

3. 物流機能の維持・事業者負担の軽減

【財務省、国土交通省、中小企業庁】

運送事業者においては、高速道路や鉄道などの物流ネットワークの寸断などにより輸送ルートの変更や迂回輸送を余儀なくされ、輸送時間の

増加に伴う人件費や燃料費等の物流コストが増加している。

九州縦貫自動車道の一部制約がある中での全線再開や東九州自動車道の通行料の料金調整により、一定の改善は見られたものの、交通ネットワークの完全復旧の時期が不透明な中、今後も物流業界への影響が継続することが懸念される。

- 国においては、影響を受けている事業者に対して、負担軽減に繋がる特段の支援措置を講じること。

令和8年8月

鹿児島県知事 塩田 康一

熊本地震による道路への影響



【南九州西回り自動車道】

- 八代JCT～八代南IC間が全面通行止め
八代南IC～田浦IC間
- ・ 緊急車両が通行可(7/30～、8/1～)
 - ・ 一般車両が通行化(8/18 6時～)

【九州縦貫自動車道】

- 松橋IC～えびのIC間の一部区間が対面通行
- ・ 緊急車両が順次通行可(7/29～、7/31～、8/9～)
 - ・ 一般車両が通行可(8/14 6時～)

熊本地震による鉄道への影響



【肥薩おれんじ鉄道】

八代～水俣間で運行を見合わせ

【九州新幹線】

熊本～新水俣間で運行を見合わせ

【鹿児島本線】

宇土～八代間で運行見合わせ

- ・ 宿泊施設において、少なくとも11万人泊以上のキャンセルが発生（8/14時点）
- ・ 複数の観光施設（かごしま水族館、知覧特攻平和会館等）において、団体客のキャンセルが発生
- ・ 鹿児島中央駅周辺の土産物店で売上げが半分ほどに落ち込む店があり、また、同駅発着のタクシー乗車数が半減するなど、土産物販売業、飲食業、交通事業者など幅広い業種に影響が波及
- ・ 夏休み期間に開催されるサッカーや野球など複数のスポーツイベント・大会において、参加見合わせが発生

- ・ 運送事業者においては、九州縦貫自動車道の通行止めなどに伴う迂回による輸送時間の増加
- ・ 人件費や燃料費等のコストが増加しているが、（荷主に負担をかけられない等の理由により）運賃への転嫁は行えていない。